

授業科目 身体障害作業療法学演習

【担当教員名】 濱口豊太、大山峰生	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【一般目標：G I O】

作業療法の対象となる身体障害者的心身機能・身体構造・活動制限・参加制約を理解し、その治療理論及び治療・支援技術を身につける。

【行動目標：S B O】

1. 身体障害作業療法の守備範囲について具体例をもって説明できる。
2. 心身機能および身体構造に関する基本的障害の治療原理について説明できる。
3. 身体障害の具体的なケースで国際障害分類（ICF）を試用する。
4. 中枢神経疾患と末梢神経疾患の障害像の違いを具体的に例示できる。
5. 代表的疾患に関する作業療法の評価法を実施できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	心身機能と構造に関する基本的障害の治療原理：演習（資料のまとめ）	1	演習、濱口、Quiz1
2	中枢神経疾患の運動と知覚機能（中枢性麻痺の回復手技）	2	演習、濱口
3	中枢神経疾患：運動・知覚機能回復（関節可動域改善手技）	3	演習、濱口、Quiz2
4	中枢神経疾患：運動・知覚機能代償（補装具、自助具、生活機能）	4	演習、濱口
5	脳血管障害：回復過程に応じた治療演習（急性期、回復期の臨床）	5	演習、濱口
6	外傷性脳損傷：回復過程に応じた治療演習（急性期、回復期の臨床）	5	演習、濱口
7	脊髄損傷の運動・知覚機能（評価演習）	5	演習、濱口、Quiz3
8	脊髄損傷：運動・知覚機能回復（演習）	5	演習、濱口
9	脊髄損傷：運動・知覚機能代償（補装具、自助具、生活機能）	5	演習、濱口
10	脊髄損傷：回復過程に応じた治療（急性期、回復期の臨床）	5	演習、濱口
11	手の外科：機能再建・代償（評価演習）	5	演習、大山
12	手の外科：機能再建・代償（治療演習）	5	演習、大山
13	末梢神経損傷：機能再建・代償（演習）	5	演習、大山
14	慢性関節リウマチ：機能再建・代償（演習）	5	演習、大山

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	作業治療学1 身体障害	日本作業療法士協会	協同医書出版社	1999、3500円
参考書	①作業ーその治療的応用、 ②エガース・片麻痺の作業療法、Eggers, o	日本作業療法士協会、柴田澄江他訳、協同医書出版社、	1985、8500円 1986、3800円	
その他の資料	配布資料			
【評価方法】				
出席点：10%				
Quiz・レポート・実技：30%				
期末試験：60%				
【履修上の留意点】				
	中枢神経、末梢神経、筋、骨格など各臓器の解剖学の知識を再学習すること。			